



沖縄県手をつなぐ育成会：コロナ禍におけるアンケート調査



未曾有の新型コロナウイルスの影響で、短期間に過去の生活とは異なる様々な変化があった状況の中で、沖縄県手をつなぐ育成会においては、玉城康弘沖縄県知事へ9月8日に緊急要望書を提出いたしました。

多くの障がいのある人やご家族の皆さんの中で、この非日常的な環境に対する不安が増して、今後の生活に対応するご意見を求めています。

そこで、保護者・ご家族の皆様には現状でのコロナ禍の生活についてのご意見を伺い、会員間での情報を共有する目的として今回アンケートを行いましたので、まとめた結果を掲載致します。

(県育成会会員団体・県事業所協議会合計65団体に送付し、11月27日までにご返信頂きました8団体24名の回答を掲載致します。)

①入所者の一時帰宅について選択してください。(※施設入所者の保護者のみ)

ア、緊急事態宣言以降、自由に一時帰宅を許可された【2】

イ、一時帰宅は、()日間と制限を受けた【0】

ウ、一時帰宅の許可が出ない【0】

エ、その他()

②施設・事業所内における家族の面会制限や立ち入りに関する状況についてお聞かせ下さい。

ア、施設への出入りは現在でも自由で、会うことができる。【7】

イ、施設のコロナ対策が万全で、人数制限のうえ会える。【2】

ウ、施設には入れるが、画面を通してしか会えない。約()分程度。【1】

エ、施設への入所は不可能で、職員から近況を聞くだけである。【0】

オ、その他(下記に記載します↓)

- ・検温、消毒、マスク着用、パネル設置
- ・B型事業所ではモニタリングの際、家族の同席、相談員(外部)は出来なかった。サインはサビ管が代筆した。(感染者が増えた時だけ県発表参考にした)
- ・送迎があるので、職場への出入りは特にしていません。

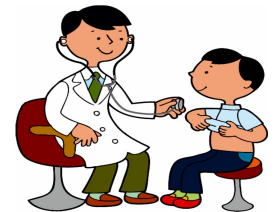
③入所・通所者の外出制限についてお聞かせ下さい。

ア、施設近辺への散歩などは、許可されている。【8】

イ、病院への外出は可能だが、それ以外は許可されていない。【1】

ウ、その他(下記に記載します↓)

- ・特に制限されていない。
- ・各自で各家庭で気をつけながら常に施設と本人の体調等の連絡を取り合いながら行っている。
- ・自由に許可されている。
- ・就業、病院受診も可能。
- ・外出自粛の協力をお願いしている。
- ・島外への外出の場合、帰宅から2週間程度自宅待機



④コロナ禍の中で、施設・事業所・家庭内で工夫したこと、対策などを教えてください。

ア、マスク、手洗い、手指の消毒などで対応している。【24】

イ、他人との接触を避けるために、距離を取っている。【19】

ウ、外出を極端に控えている。【18】

エ、その他(下記に記載します↓)

- ・出入りを少人数にする、パネルの設置、マスク配布、マスクフィルターを作って毎日配布。
- ・送迎時間の工夫。
- ・検温、健康観察。通所や送迎の分散。パーテーション設置。外出を控える為まとめ買いした。
- ・毎朝の体温チェック。外出先の縮小。
- ・室内の消毒や加湿に注意している。
- ・換気をまめに行う。

次ページに続く

- ・マスク、手洗い、手指に消毒に対応している。
- ・他人との接触を控えている。距離を取っている。
- ・外出を控えている。
- ・自力通所の利用者を送迎するように促している。
- ・毎朝の清掃の時間に消毒の時間を設けた。
- ・イベントを縮小した。(合同でのお楽しみ会はしないなど)



⑤新しい生活様式の中で困ったこと、困っている事を記入してください。

- ・マスクで肌荒れがする、色んな外出支援が難しい、買い物に気を遣う、病院受診での感染不安。
- ・病院受診で3密を避けるため、屋外で待たされる。
- ・今まで普通にやっていたハイタッチなどができなくなった。
- ・くしゃみを思いきりできなくなり、咳・くしゃみのエチケットを教えるのに時間がかかった。
- ・息子がひげを剃らなくなった。回数が減った。マスク着用の為親も気づかない。
- ・マスクで蒸れと息苦しさが嫌。
- ・自宅にいる時間が増え退屈。なかなか友達に会えない。
- ・外出先でコロナ対策が出来ているか心配。
- ・マスク着用のチェック。
- ・大好きな祭りや行事等の中止が残念。
- ・マスク着用で顔にできものができた。また、できものをいじる癖があり、皮膚の状態が悪くなり皮膚科を受診した。
- ・出かける際にマスクを忘れてハッと思い、外出をやめることがあった。
- ・緊急事態宣言下ではショートステイを利用している施設が休みとなり、保護者の方が有休を取って調整していた。
- ・外出はなるべく避けているので、休みの時はほとんど家に居り、少しイラつくことがある。
- ・家族会の役員会議の縮小をした。
- ・運動不足で、本人の体重が増えました。少しずつ外出の機会を増やしてはいますが常に不安。
- ・マスク着用がずっと続いているため、もともとあった顔のニキビがひどくなり治療している。
- ・休日等に家族で出かけることが出来なくなった。
- ・様々な参加事業が中止となり活動が減った。
- ・自宅にすることが多いので、コロナ太りになりました。
- ・マスクに慣れることや、手洗い等がうまくできない。
- ・室内レクがなくなり、楽しみが減った。
- ・茶話会やカラオケが禁止になり、楽しみがなくなった。
- ・一部の利用者がマスクをしない(意味がわかっていない)またはすぐ外すので、他利用者や保護者から注意を受ける。
- ・情報の氾濫で理解が追いつけずに極度の恐怖状態で休んでいる利用者がいた。(その方は現在は10時出勤で11時半に帰宅している。)



⑥新しい生活様式になって良かったこと、楽になった事を記入してください。

- ・事業所の小さな集団でディスタンスを保ちながら野外、外出支援をしている。
- ・とりのこされた感がない。
- ・マスク着用が意識づいた(自閉でこだわりが強いが、案外すんなりとマスクを付けられ、外出時も苦にならない)。
- ・アルコール消毒の習慣がついた。(息子の成長が見られる)
- ・コロナに限らず、感染防止になった。
- ・野外で体を動かす機会が多くなった。
- ・庭や室内の掃除、家で出来ることに集中することが増えた。
- ・マスク、手洗いなどが充分に行われているためか、風邪で休む方がいない。



次ページに続く

⑦コロナ禍で変化した事を、記入してください。(良い・悪いことなど)

- ・利用者の退所を気にするようになった。
- ・マスク着用を忘れない。
- ・一時的に工賃が減った。
- ・感染者が増えると外出は怖いので、移動支援の利用をキャンセルしている。
(うつるのも怖いし、通所事業所へコロナを持ち込むのも怖いから。)
- ・家族といる時間が増えて良かった。
- ・外出が減ったことで預金が増えた。
- ・外出の機会が減り、食べることで楽しむようになり体重増加した。
- ・ゲームやテレビ視聴が増え、生活リズムが乱れた。
- ・運動不足。
- ・休みが増え、切り替えに時間がかかった。
- ・家族での行動が多くなった。
- ・グループホーム全員で出かけることが減った。
- ・帰宅日に帰宅できなかった。
- ・映画や買い物等、皆で出かけることが少なくなった。
- ・帰宅時に不要不急の外出はしないように理解を求めた。
- ・野外での活動や他の親との交流が少なくなり、会活動も少なくなりました。
- ・手伝いが増えた。
- ・近くにある自販機を利用することが多くなった。
- ・食事量は同じだが体重が増えた。
- ・本人が手洗い、うがい、特にマスクの着用が苦にならなくなっている。
- ・ステイホーム中に3kgほど太ってしまい、元に戻すことが大変。
- ・運動不足になり体重が増えた。
- ・ステイホーム中は家でヒマになるので、時々イライラすることもあった。
- ・島内での感染のニュースを聞き、施設利用を控える方がいる。
- ・食事での会話無し。
- ・話をする時は1m以上離れる。
- ・食事中静かになった(楽しくないと言う)。向きを変えて食べる利用者もいる。
- ・他事業の出入りを自粛するようになった(就労・介護)。
- ・自宅待機で外出自粛の時は、外にも出かけることが出来ずに退屈しました。



⑧これからの生活について不安や悩みはありますか？それを相談できる人はいますか？

- ・このまま事業所にいられるのか、利用者減少に不安を感じる。
- ・親亡き後は不安。コロナの予防薬ができるまでは緊張した生活が続くと思う。
- ・本人(息子)はマスク着用や消毒は出来るが、コロナについては理解できていない。
- ・コロナへの感染の不安。
- ・病院での処置を嫌がるので感染が怖い。
- ・不安や悩みは、家族や事業所の職員、相談員に相談している。
- ・支援員にも健康面で注意して頂きたいと願います。
- ・利用者本人がコロナ感染した場合、病院で隔離されると思いますが、知らない場所(病室等)・治療等、家族が付き添えないとなると、状況を理解できない自閉症の息子はパニックをおこしてしまわないか？が不安です。そういった病院の対応などが知りたいです。
- ・コロナ禍がひどくなり、施設(通所)が休みになってしまうと、親の仕事にまで影響が出てくるのでは・・・と不安です。
- ・親が用事で半日～一日留守にする時、一人で居るので心配です。
ショートステイ施設がいつでも利用できるようにしてほしい。
- ・何かあったら支援員に相談できる体制があるので安心。
- ・本人が感染したらと思うと毎日が不安です。



次ページに続く

- ・事業所の支援員に相談している。(長い休業があり、週2回程の面談はあるが・・・)
- ・週1回、精神保健福祉士による相談日を設けている。
- ・コロナに感染した場合の対処。
- ・知的障がいのある子がコロナにかかったら病院等の対応がどうなるのか不安。



◎県育成会へのご意見・要望等があれば、記入してください。

- ・コロナワクチンができるまでは、合同行事を主催しないでほしいです。
- ・情報をいつもありがとうございます。
- ・施設、事業所のあり方についても、家族の協力等取り上げてみていいですね。
- ・PCR検査が各施設でできればと思います。
- ・加入者がもっと増えるといいですね。知らない人も多いのではないかと?
- ・今まで通り、育成会の発展の為、宜しくお願い致します。
- ・障がい者でも気兼ねなく安心して入院できる病院があったら良い。



⑩その他、ご自由に記入してください。

- ・親亡き後は、グループホームか入所施設に入れたら安心ですけど、そのことが毎日頭から離れません。宜しくお願いします。
- ・コロナに対して非常に意識が高い家族と意識の低い家族の差が極端で、両方の意見があり対応が難しい。
- ・会員のコロナ感染、家族の中でのコロナ感染が毎日心配である。

アンケートにご協力いただいた皆様ありがとうございました☆彡



冬季チャリティー販売のご案内

受付は
12月7日まで

♪令和2年11月1日(金)～12月7日(月)まで、『ちゃんぽん・皿うどん詰合わせ』と『島手らーめん(とんこつ・醤油)』『手延べうどん』を販売致します。

ご注文は各団体か、または県育成会(098-882-5727)まで!

N-1 (詰合わせ)	ちゃんぽん(麺100g×4袋) 皿うどん(麺60g×4袋)	2200円
SR-1	麺75g×10束 (とんこつ5袋・醤油5袋)	2000円
VS-45	手延べうどん (麺90g×14束)	2780円



「うくん・」と唸りそうですが、実は私たちはチャンスと捉えています。ただ、黙って指を咥えているのではなく、視点を変えて、今しかできないことに注力しています。例えば、新しくクラウドファンディングの立ち上げ準備をしています。また、ライオンスタンプの販売や、ユーチューブの配信など、あの手この手でピンチをチャンスに変える方法を絶賛準備中です。職員からのアイデアも多く、逆に時間が足りないほどです。皆様のピンチをチャンスに、視点を変えて『前へ』



理事通信

理事 喜納 平

ウイズコロナや新しい生活様式と言う言葉も耳にしますが、違和感を感じなく、こちらでも気持ちが悪くはないと思う日々が続いています。夕方になると『沖縄コナ』と検索し、「今日も何人かあ」と気持ちが続いていきます。

是非アクセスして下さい★
<https://tumunui.jp>

県育成会行事報告11月

- ★11月2日(月) 県総合福祉センター 県育成会3役会
- ★11月6日(金) WEB会議 県事業所協議会理事會③
- ★11月17日(火) WEB会議 虐待防止権利擁護研修(厚労省研修)
- ★11月24日(火) 沖縄電力(株) 協賛依頼のごあいさつ
- ★11月24日(火) 那覇市役所 研究大会説明会の依頼

県育成会行事予定12月・1月

- ★12月8日(火) 三和シャッター(株) 協賛依頼のごあいさつ
- ★12月4日・11日・18日(金) 沖縄協 虐待防止研修(訪問研修)
- ★12月15日(火) 沖縄協 虐待防止研修(訪問研修)
- ★12月22日(火) WEB会議 ゆうあいスポーツ大会実行委員会①

●訂正とお詫び●

11月号に掲載した左記の文中で訂正箇所がありました。申し訳ございませんでした。

沖縄県社会福祉事業団体様より、毎年継続して3万年(訂正・円)の寄付を頂けることになりました。常日頃からの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

『手をつなぐ・うちな〜』編集者

理事長：田中寛
事務局：高原奈々・東江早苗

回中理事長のゆんたく広場

「階段はいつも左足から登ります」「目玉焼きは、必ず黄身から食べます」などと、無意識のうちですが、気づけば私自身はいつも同じ行為を繰り返して

「無くて七癖、あつて四十八癖」というように、誰にでも癖はあるようですが、この決まった動作の繰り返しを、かつよく今風に言えば「ルーティン」

しかし、この「こだわり行動」を大きな特徴としているのが「閉スペクトラム症、つまり『自闭症』と呼ばれる方々です。

息苦しいマスク着用の要請などコロナ禍の中では、生活に大きな支障をうみ、きつと辛い日々を過ごしているのではないかと

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。
お申込みご希望の方は、県育成会まで一度ご連絡下さい。
*年間購読料 3,900円

『手をつなぐ』配布募集



予約受付中



価格：税込1,100円
(郵送料振込手数料は実費となります)



価格：税込1,320円
(郵送料振込手数料は実費となります)



★投稿募集★
「会員の声」のコーナーについて記事投稿の募集を随時行っています。各会活動を行う会員様の日頃の想い・活動内容を多くの方に届けてみませんか？是非県育成会までご連絡下さい。
(宗教、政治、イデオロギー色の強いものなどは掲載を見送る場合もあります。)

相談事業を行っています

沖縄県手をつなぐ育成会では、今年度4月から新しく、知的障がいに関するあらゆる相談をお受けできるよう相談員(砂川副理事長)担当を配置しております。
毎週火・木曜日朝9時半〜12時までにご相談員がおりますので、お気軽にご相談下さい。

賛助会員

加入のお願い

2020年度の事業も後半となってまいりました。

昨年同様、沖縄県手をつなぐ育成会へのかわらぬご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

「社会が障がいのある子を持つ親等を中心に結成され、「知的障がい者(自)の心豊かな暮らし」、「社会が障がいのある子を持つ親等相互に人格と個性を尊重し合う共生社会」の現実を目標に活動をしていきます。

その目標の下、知的に障がいのある人の自立と社会参加を推進するため、育成会文化祭り、沖縄県ゆうあいスポーツ大会、研修会、本人活動支援事業等多く事業に取り組んでおります。
当会の趣旨にご賛同いただき、活動の資金的なご支援をお願い申し上げます。

- ★賛助会員 個人：1000円 千円
- ★団体会員 企業・団体：1000円 5千円
- ★琉球銀行・石嶺支店(普) 444100
- ♪連絡先：沖縄県手をつなぐ育成会
- TEL 098(882) 5727
- ♪申込書は県育成会HPからもダウンロード可能です。是非ご利用下さい。